



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月2日

上場会社名 株式会社インプレスホールディングス 上場取引所 東
コード番号 9479 URL <http://www.impressholdings.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関本 彰大
問合せ先責任者 (役職名) 取締役/執行役員CFO (氏名) 山手 章弘 TEL 03 (5275) 9011
四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	5,499	△1.5	144	△1.9	108	△5.7	131	△45.6
24年3月期第2四半期	5,582	△34.6	147	△68.7	115	△73.0	241	80.6

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 453百万円 (89.6%) 24年3月期第2四半期 239百万円 (75.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	3.71	—
24年3月期第2四半期	6.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	13,630	8,359	61.1	243.63
24年3月期	12,984	8,189	62.8	227.09

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 8,330百万円 24年3月期 8,152百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	2.00	2.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期（予想）	—	—	—	0.60 ～1.00	0.60 ～1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	10,500 ～11,300	—	120 ～220	—	120 ～180	—	3.34 5.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P. 6「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期2Q	37,371,500株	24年3月期	37,371,500株
25年3月期2Q	3,179,986株	24年3月期	1,473,406株
25年3月期2Q	35,379,610株	24年3月期2Q	35,899,736株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づくレビュー手続を実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	6
4. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	13
(5) セグメント情報等	13
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

事業セグメント区分	事業区分		事業内容	主要な会社
IT (IT分野に関するメディア及び関連サービス事業)	メディア事業	デジタル	デジタルメディアの企画制作、販売及び広告収入等	(株)インプレスR&D (株)インプレスビジネスメディア (株)インプレスジャパン (株)Impress Watch 英普麗斯(北京) 科技有限公司
		出版	出版流通を主な販売チャネルとした雑誌、ムック、書籍等の企画制作、販売及び広告収入等	
		ターゲット	ユーザー属性の明確な顧客層を対象としたメディアの企画制作、販売及び広告収入等	
	サービス事業		販促物等の受託制作及びその周辺サービス	
音楽 (音楽分野に関するメディア及び関連サービス事業)	メディア事業	デジタル	デジタルメディアの企画制作、販売及び広告収入等	(株)リットーミュージック
		出版	出版流通を主な販売チャネルとした雑誌、ムック、書籍、映像製品等の企画制作、販売及び広告収入等	
デザイン (デザイン分野に関するメディア及び関連サービス事業)	メディア事業	デジタル	デジタルメディアの企画制作、販売及び広告収入等	(株)エムディエヌコーポレーション
		出版	出版流通を主な販売チャネルとした雑誌、ムック、書籍等の企画制作、販売及び広告収入等	
医療 (医療分野に関するメディア及び関連サービス事業)	メディア事業	ターゲット	ユーザー属性の明確な顧客層を対象としたメディアの企画制作、販売及び広告収入等	(株)メディカルトリビューン
	サービス事業		医学学会関連事業、医学コンベンション事業等	
山岳・自然 (山岳・自然分野に関するメディア及び関連サービス事業)	メディア事業	デジタル	デジタルメディアの企画制作、販売及び広告収入等	(株)山と溪谷社
		出版	出版流通を主な販売チャネルとした雑誌、ムック、書籍、映像製品等の企画制作、販売及び広告収入等	
モバイルサービス (モバイル関連のメディア及びサービス事業)	メディア事業	ターゲット	ユーザー属性の明確な顧客層を対象としたメディアの企画制作、販売及び広告収入等	(株)ICE (株)デジタルディレクターズ
	サービス事業		電子書籍の企画制作、モバイル端末向けサービスの企画・開発・運営等	
その他			出版事業等、電子出版等の事業開発及びR&D	(株)近代科学社 Impress Business Development(同)

(当第2四半期連結累計期間の業績全般の概況)

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものです。

また、文中の事業セグメントの売上高は、セグメント間の内部振替高を含んでおり、セグメント利益は、経常利益をベースとしております。

当第2四半期連結累計期間につきましては、主力のメディア事業を中心に堅調に推移しましたが、前第2四半期連結会計期間にソフトウェアのオンライン販売事業を譲渡した影響（前期実績：173百万円）を補えず、減収となりました。

これらの結果、売上高は前年同期（5,582百万円）に比べ83百万円減少し、5,499百万円となりました。経常利益では、事業譲渡に伴う利益影響度は限定的となり、前年同期（115百万円）に比べ6百万円減少し、108百万円となりました。また、四半期純利益では、第1四半期連結会計期間に投資有価証券の一部を売却したことなどにより前第2四半期連結累計期間を上回る特別利益を計上しましたが、前第2四半期連結累計期間には還付法人税等還付税額を計上したことなどにより、前年同期（241百万円）に比べ110百万円減少し、131百万円の四半期純利益となりました。

①IT

■メディア事業

デジタルメディアにつきましては、コンテンツ販売が増加したことに加えて、主力のデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch」（<http://www.watch.impress.co.jp/>）等の広告収入が回復しつつあり、増収となりました。

出版メディアにつきましては、PC入門書籍を中心に堅調に推移し、デジタルカメラやスマートフォン関連の雑誌・ムック販売及び広告収入が増加したことなどにより、増収となりました。

ターゲットメディアにつきましては、登録顧客向けのメディア事業が主な事業内容であり、広告収入が収益の中心となっております。エンタープライズIT専門誌「IT Leaders」の広告収入を中心に前期の震災影響等による厳しい状況から回復しており、関連サービスも堅調に推移して、増収となりました。

これらの結果、メディア事業の売上高は、ムック販売増加に加えて、広告収入を中心に堅調に推移したことにより、前年同期（1,772百万円）比5.4%増の1,867百万円となりました。

■サービス事業

サービス事業は、前第2四半期連結会計期間にソフトウェアのオンライン販売事業を譲渡しており、販促物等の受託制作及びその周辺サービスが中心となっております。

受託制作等のサービスにつきましては、国内の制作受託やセミナー等のイベント収入を中心に堅調に推移しましたが、事業譲渡に伴う売上高の減少（前期実績：173百万円）を補えず、減収となりました。

これらの結果、サービス事業の売上高は、前年同期（561百万円）比22.3%減の436百万円となりました。

以上により、「IT」の売上高は、前年同期（2,333百万円）比1.3%減の2,304百万円となりました。セグメント利益では、ソフトウェア販売事業の譲渡による利益影響は限定的であり、広告増収やイベント収入増加などで補い、前年同期（44百万円）比5.1%減の42百万円の利益となり、前年とほぼ同水準となりました。

②音楽

■メディア事業

音楽セグメントは、出版メディアが中心となっております。当第2四半期連結累計期間につきましては、雑誌広告に加えて、楽器購入者向けの購買支援サイト「楽器探そう！デジマート」（<http://www.digimart.net/>）における楽器店からの登録料収入が堅調に推移したものの、ムック販売が新刊点数の減少や既刊出荷が減少したことなどにより、減収となりました。

以上により、「音楽」の売上高は、前年同期（1,178百万円）比1.5%減の1,160百万円、セグメント利益は、減収の影響に加えて、雑誌・書籍の新刊点数増加による原価増加等により、前年同期（66百万円）比62.6%減の24百万円の利益となりました。

③デザイン

■メディア事業

デザインセグメントは、出版メディアが中心となっております。当第2四半期連結累計期間につきましては、デザイン関連の書籍が新刊点数の減少により減収となったものの、ムック新刊点数の増加により出荷が増加したことに加えて、デジタル事業が堅調に推移したことなどにより補い、増収となりました。

以上により、「デザイン」の売上高は、前年同期（362百万円）比1.0%増の365百万円となりました。セグメント利益では、コスト削減や返品率の改善などにより、前年同期（6百万円の損失）に比べ28百万円利益が増加し、22百万円の利益となりました。

④医療

■メディア事業

医療セグメントにつきましては、「持分法適用会社が営む事業」と位置付けております。当第2四半期連結累計期間につきましては、受託制作等のサービス事業は堅調に推移しましたが、広告収入減収の影響を補えず、セグメント利益では、前年同期（38百万円の損失）に比べ3百万円損失が増加し、41百万円の損失となりました。

⑤山岳・自然

■メディア事業

山岳・自然セグメントの同事業は、出版メディアが中心となっております。当第2四半期連結累計期間につきましては、出版広告は好調に推移しましたが、新刊ムックの出荷が減少したことに加えて、カレンダーの刊行が一部第3四半期となったことなどにより、減収となりました。

なお、デジタル事業につきましては、デジタルコンテンツの販売などによる収入や登山情報サイト「Yamakei Online」（<http://www.yamakei-online.com/>）の広告収入を中心に堅調に推移しております。

以上により、「山岳・自然」の売上高は、前年同期（1,226百万円）比0.8%減の1,216百万円となりました。セグメント利益では、広告増収や返品率の改善などにより、前年同期（257百万円）比12.0%増の288百万円の利益となりました。

⑥モバイルサービス

モバイルサービスセグメントは、モバイル端末向けのコンテンツ制作、配信ソリューション及び関連サービスの提供が中心となっております。当第2四半期連結累計期間につきましては、スマートフォン向けの新規事業開発に取り組みましたが、メディアの広告収入が減少したことに加えて、携帯電話向けのコミック関連サービスサイトの運営受託収入などが減少したことにより、減収となりました。

以上により、売上高は、前年同期（390百万円）比8.9%減の355百万円となりました。セグメント利益では、固定費等のコスト削減により減収を補い、前年同期（13百万円）に比べ18百万円増収となり、32百万円の利益となりました。

⑦その他

その他セグメントにつきましては、売上高は、前年同期（81百万円）比14.6%減の69百万円となりました。セグメント利益では、電子出版を中心とした新規事業開発、既存事業の活性化及びR&Dを目的とした投資を行ったことにより、前年同期（2百万円）に比べ15百万円減益となり、13百万円の損失となりました。

⑧全社

全社セグメントは、グループの戦略策定及び経営管理等の機能を担う当社と、物流・販売管理機能を担う株式会社インプレスコミュニケーションズが区分されており、グループ会社からの配当、情報システム等の経営インフラの使用料及びグループ会社やパートナー版元の物流・販売管理に伴う手数料収入を売上高として計上し、経営インフラ等の運営に係る費用を負担しております。

当第2四半期連結累計期間の全社区分につきましては、売上高は、グループ各社からの配当収入が増加したことなどにより前年同期（599百万円）比30.3%増の780百万円と大幅に増収となりました。全社セグメントの利益は、前年同期（153百万円の損失）に比べ161百万円利益が増加し、8百万円の利益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて季節的変動により商品及び製品が84百万円、仕掛品が131百万円増加したことに加え、保有する投資有価証券の時価上昇等により投資有価証券が330百万円増加したこと等により、646百万円増加し13,630百万円となりました。負債につきましては、仕入債務が169百万円、保有する投資有価証券の時価上昇に伴い計上した長期繰延税金負債が174百万円増加したこと等により、476百万円増加し5,271百万円となりました。純資産につきましては、自己株式の取得により200百万円減少しましたが、四半期純利益131百万円の計上及びその他の包括利益累計額が318百万円増加したことにより、8,359百万円となりました。

純資産から新株予約権及び少数株主持分を引いた自己資本は8,330百万円となり、自己資本比率は61.1%と前連結会計年度末(62.8%)に比べ1.7ポイント減少しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)は、自己株式取得に伴い200百万円、配当金の支払により70百万円を支出したことにより財務活動で284百万円の資金を支出したものの、税金等調整前四半期純利益210百万円の計上及び仕入債務が180百万円増加したこと等により営業活動で334百万円、有価証券および投資有価証券が取得を上回る償還及び売却があったこと等により投資活動で112百万円、それぞれ資金を獲得しました。これにより、前連結会計年度末に比べ162百万円増加し、当第2四半期連結累計期間末の資金残高は4,314百万円となりました。

前第2四半期連結累計期間との比較では、前第2四半期連結累計期間においては医療分野の事業譲渡益に対する未払法人税等の納付があったこと等により営業活動において現金収支がマイナスに転じておりましたが、当第2四半期連結累計期間ではこの支出がなかったこと等により営業活動では前年同期に比べ1,075百万円の収支が改善しました。投資活動では、当第2四半期連結累計期間は市場状況を鑑み前第2四半期連結累計期間と比べ満期保有目的債券の購入を控え、また満期保有目的債券が当期になり償還を迎えたことおよび保有する投資有価証券の一部を売却したこと等により投資活動では前年同期に比べ1,070百万円の収支が改善しました。他方で、財務活動におきましては、当第2四半期連結累計期間は自己株式取得や配当金の支払があったことにより、財務活動支出が277百万円増加しました。

以上により、当第2四半期連結累計期間において獲得した資金は、前年同期に比べ1,870百万円増加し、当第2四半期連結累計期間末の資金残高は前年同期末とほぼ同額となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績動向につきましては、主力事業である出版事業をはじめ、サービス事業も堅調に推移して、概ね予定通りとなりました。

第3四半期連結累計期間以降の連結業績につきましては、携帯端末やタブレット端末、新OSの発売などによりIT市場や電子書籍市場は活況を呈しておりますが、委託販売制度による返品リスクや広告市場の変動リスク、大型季節商品の販売動向等を総合的に勘案し、現時点では通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,152,756	4,314,996
受取手形及び売掛金	3,917,817	3,854,939
有価証券	601,318	560,947
商品及び製品	981,691	1,066,170
仕掛品	107,330	239,120
繰延税金資産	32,881	32,881
その他	279,809	164,778
返品債権特別勘定	△24,400	△30,100
貸倒引当金	△41,486	△12,959
流動資産合計	10,007,718	10,190,775
固定資産		
有形固定資産	145,794	165,928
無形固定資産		
のれん	1,051	629
ソフトウェア	135,771	147,845
ソフトウェア仮勘定	24,172	6,888
その他	14,699	14,199
無形固定資産合計	175,694	169,563
投資その他の資産		
投資有価証券	2,278,661	2,609,634
その他	377,519	524,598
貸倒引当金	△710	△29,710
投資その他の資産合計	2,655,470	3,104,523
固定資産合計	2,976,959	3,440,015
資産合計	12,984,678	13,630,791

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,322,559	1,492,555
短期借入金	735,000	610,000
1年内償還予定の社債	64,000	72,000
1年内返済予定の長期借入金	430,068	473,236
未払法人税等	42,726	73,251
賞与引当金	169,294	169,862
役員賞与引当金	3,500	—
返品調整引当金	226,015	270,320
その他	674,657	726,555
流動負債合計	3,667,820	3,887,781
固定負債		
社債	40,000	—
長期借入金	374,998	475,296
退職給付引当金	648,858	670,145
その他	63,153	237,918
固定負債合計	1,127,010	1,383,359
負債合計	4,794,830	5,271,141
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,341,021	5,341,021
資本剰余金	5,544,617	2,199,308
利益剰余金	△2,415,053	989,943
自己株式	△418,873	△619,096
株主資本合計	8,051,711	7,911,177
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	111,165	426,745
為替換算調整勘定	△10,458	△7,801
その他の包括利益累計額合計	100,707	418,944
新株予約権	28,487	16,840
少数株主持分	8,941	12,687
純資産合計	8,189,848	8,359,649
負債純資産合計	12,984,678	13,630,791

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	5,582,989	5,499,966
売上原価	3,422,514	3,355,924
売上総利益	2,160,475	2,144,042
返品調整引当金繰入額	47,559	50,005
差引売上総利益	2,112,916	2,094,036
販売費及び一般管理費	1,965,535	1,949,403
営業利益	147,380	144,633
営業外収益		
受取利息	8,467	10,024
受取配当金	5,108	7,130
貸倒引当金戻入額	7,408	—
その他	5,242	6,089
営業外収益合計	26,227	23,245
営業外費用		
支払利息	9,579	9,784
持分法による投資損失	38,572	41,678
為替差損	9,603	7,109
その他	806	782
営業外費用合計	58,561	59,355
経常利益	115,047	108,523
特別利益		
投資有価証券売却益	37,344	99,717
新株予約権戻入益	660	11,646
持分変動利益	12,742	—
事業譲渡益	52,709	—
その他	2,006	—
特別利益合計	105,464	111,364
特別損失		
固定資産売却損	—	7,220
固定資産除却損	68	1,453
投資有価証券評価損	2,141	—
減損損失	5,627	—
その他	1,122	700
特別損失合計	8,960	9,373
税金等調整前四半期純利益	211,551	210,514
法人税等	35,572	75,283
法人税等還付税額	△68,857	—
少数株主損益調整前四半期純利益	244,835	135,230
少数株主利益	3,346	3,746
四半期純利益	241,489	131,484

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	244,835	135,230
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,935	315,555
為替換算調整勘定	1,238	2,656
持分法適用会社に対する持分相当額	△18	24
その他の包括利益合計	△5,715	318,236
四半期包括利益	239,119	453,467
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	235,773	449,721
少数株主に係る四半期包括利益	3,346	3,746

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	211,551	210,514
減価償却費	103,509	73,147
減損損失	5,627	—
のれん償却額	791	421
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	7,907	21,286
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△43,566	429
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9,150	△3,500
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	40,959	44,305
返品債権特別勘定の増減額 (△は減少)	6,600	5,700
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7,988	472
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△639	—
受取利息及び受取配当金	△13,576	△17,155
支払利息	9,579	9,784
為替差損益 (△は益)	8,890	6,239
持分法による投資損益 (△は益)	38,572	41,678
投資有価証券売却損益 (△は益)	△37,344	△99,717
投資有価証券評価損益 (△は益)	2,141	—
事業譲渡損益 (△は益)	△52,709	—
売上債権の増減額 (△は増加)	306,558	64,356
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△177,460	△216,269
仕入債務の増減額 (△は減少)	△212,640	180,147
事業構造改革による未払金の増減額 (△は減少)	△3,856	—
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△178,863	3,547
その他	△49,151	8,077
小計	△44,257	333,464
利息及び配当金の受取額	13,863	24,603
利息の支払額	△9,759	△9,770
法人税等の還付額	639,942	66,594
法人税等の支払額	△1,341,077	△80,748
営業活動によるキャッシュ・フロー	△741,289	334,143

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△202,188	—
有価証券の償還による収入	—	400,000
投資有価証券の取得による支出	△707,147	△264,465
投資有価証券の売却による収入	2,250	110,590
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	28,399	—
有形固定資産の取得による支出	△35,695	△41,334
無形固定資産の取得による支出	△33,727	△32,585
有形固定資産の売却による収入	—	313
貸付けによる支出	△31,000	△68,900
貸付金の回収による収入	6,270	8,233
敷金及び保証金の回収による収入	2,387	519
敷金及び保証金の差入による支出	△35,635	△306
事業譲渡による収入	47,946	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△958,140	112,063
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△374,798	△125,000
長期借入れによる収入	600,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△199,800	△256,534
社債の償還による支出	△32,000	△32,000
自己株式の取得による支出	△119	△200,223
配当金の支払額	—	△70,310
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,717	△284,067
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,867	100
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,708,014	162,240
現金及び現金同等物の期首残高	6,091,371	4,152,756
連結子会社の会社分割に伴う現金及び現金同等物の減少額	△4,000	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,379,357	4,314,996

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	I T	音楽	デザイン	医療	山岳・自然	モバイル サービス	計			
売上高	2,333,621	1,178,123	362,391	—	1,226,620	390,223	5,490,980	81,295	10,713	5,582,989
セグメント利益又はセグメント損失	44,331	66,682	(6,152)	(38,114)	257,827	13,625	338,200	2,451	(225,604)	115,047

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版・受託制作・デジタルコンテンツ販売及び配信受託事業等が含まれております。

2. 報告セグメント合計額と四半期連結財務諸表計上額の差異の内容

セグメント利益の調整額△225,604千円には、事業セグメント以外の売上高41,243千円、セグメント間取引消去△30,529千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△248,102千円、その他調整額11,784千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の経常利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	I T	音楽	デザイン	医療	山岳・自然	モバイル サービス	計			
売上高	2,304,187	1,160,738	365,977	—	1,216,979	355,512	5,403,394	69,466	27,104	5,499,966
セグメント利益又はセグメント損失	42,090	24,947	22,007	(41,678)	288,731	32,057	368,157	(13,326)	(246,306)	108,523

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版事業等、電子出版等の事業開発及びR&Dが含まれております。

2. 報告セグメント合計額と四半期連結財務諸表計上額の差異の内容

セグメント利益の調整額△246,306千円には、事業セグメント以外の売上高53,826千円、セグメント間取引消去△26,721千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△279,638千円、その他調整額6,226千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の経常利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 配当支払額

平成24年5月17日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

①	配当金の総額	71,796千円
②	1株当たり配当額	2.00円
③	基準日	平成24年3月31日
④	効力発生日	平成24年6月25日
⑤	配当の原資	その他資本剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成24年5月17日開催の取締役会の決議により、その他資本剰余金の額5,544,617千円のうち
3,273,513千円を繰越利益剰余金に振替えることにより欠損填補に充当いたしました。

また、平成24年8月1日開催の取締役会における自己株式の取得決議に基づき、自己株式の取得を行いました。
この結果、自己株式が1,704,200株、199,996千円増加しております。